



(2009) 1 1 月

'09-12月 11 10月 9月 8月 7月 6月 5月 4月 3月 2月 1月

[ご意見やご要望は
こちらのメールで](#)

[Home](#)



[Back](#)

11/30	月		● 広報委員会、議会運営委員会、12月県議会開会 ● 20年度決算審査特別委員会の委員長報告に基づいて私は日本共産党として反対意見を述べました。賛成意見もなく、賛成多数で可決されました。 ● 特別職、一般職のボーナスカットの予算が提案され日本共産党はこれ以上の一般職員の給与引き下げは民間給与の引き下げにつながり景気の悪化を招くということで反対しました。 ● SLを走らせる議員連盟、JR西日本から参加していただきました。現在機関車は2機しかなく山口で走っているものと琵琶湖のもの。普通の車両に比べて重量が3倍あり、20年以上走らせていない桜井線。和歌山線の場合、床の補強、橋の補強、また奈良駅の高架化に伴い急勾配になったのでそれをのぼれるかどうかなど課題が山積しており、夢を具体化するために幾らの予算が必要か試算してもらうことになりました。 ● 医大の動物実験棟の運営にかかわってきた委託業者が、別の業者に代わるときに5年間パートで働き、毎年契約更新で働いてきた労働者が、有給休暇継続を要望して、職場を奪われている問題で健康局長に県として解決のために協力して欲しいと要望しました。4月から今日まで収入も閉ざされ、大変になっています。ところが争議中の場合には支援の救済策もありません。働く人の尊厳、権利を守るために「公契約条例」の必要を痛感しました。 ● 奈良県の医療再生計画について医療関係者の意見を聞きました。	
11/29	日		観光列車旅万葉のラッピング電車のお披露目会があり、桜井駅に行ってきました。この日のために初列車に乗れるということで抽選にあたった親子づれが多かったです、私も上の孫を連れて参加、万葉集のデザイン大人向けの感じでした 観光にこられた方には万葉電車に乗れたということはいいい思い出になると思います 町内会の火災訓練に参加のため帰ってきましたが中止になりました 生活相談2件 インフルエンザ対策の問い合わせ 母の荷物の片付け	
ページトップへ				
11/28	土		● コーラスの練習、小さな木のみ、もしも世界がを歌いました。12日のうたう会の練習と歌詞集をつくる作業。 ● 吉野材の快適住まい塾に参加しました。南大和住宅事業協同組合が立ち上がったそうです。吉野材の高温乾燥したものと自然乾燥したものを比べてみたときににおいが自然乾燥はまるやかないい香りでその違いにびっくりしました。話の中でよそでは木の全てを使うが吉野材は1番2番しか使わず、あとは棄ててしまうというのを聞きました。1番というのは材木にしたときに根元に近いところから柱の長さをとって、最初の木材が1番次の柱が2番というそうです。お話を聞いて地元で吉野材の家を建てることはみんなあこがれですが高いのではないかと原材料はどうやってか運か立ててくれる大工さんはなどと考えると面倒な木の家より、簡単に立てられて見栄えがいい手続きの簡単そうなプレハブ住宅などの家を買うことになりがちですが、そうしたことを亡くすため設計施工座木材調達など家の子となら全て出来る組合は消費者にとってもありがたい存在です。いい家とは、健康に暮らせる家、人が仲良くなる家次のときに産廃ばかり出すような家ではなく作り直しができる家、心地よく子どもが動き回るような家と言うことで家の中の導線によって家族が連帯できる田の字の家が一番家族が仲良く出来るそうです。長い目で見たときに得する家など、とても興味を持ちました ● 林業政策としてはここ20年から30年湯流材を使うことで森林の保全が出来なくなっている、国内の森林整備が出来までの間輸入を控えさせて欲しいと交渉すれば納得してもらえるのではないと言われていました。志位委員長林業組合の挨拶が載った赤旗新聞を渡しておきました ● 買い物先で出会った人に赤のお勧め、日刊紙が増えました。	
11/27	金		● 生活相談、入札問題について、 ● 各派連絡会、議会運営委員会 ● 王寺南中学校に学校給食の視察、広陵、香芝、高田が中学校給食未実施のため視察。自校方式ですが王寺南中学校と2校分の究極615人分を作って王寺の分は配達をします。食器は新しくなっていてご飯茶碗、汁物碗、深皿、先われスプーンを使っていました。今日のメニューはブロッコリーの胡麻和え、豚汁、煮魚ごはん、で暖かくておいしそうでした。給食室にはエプロン、三角巾、マスクをつけた子どもたち各クラスごとに集って入り口で先生が人数チェック。全員そろったところから取りに行きます。教室では机をお互い寄せて並べ手分けして配膳。 ● ご飯もお代わりが出来ます。給食費は月4300円。一食290円です。コスト削減でパンに塗るものなど私たちの時代にあったマーガリンジャムなどはなくパンのときは味付けのパンがでてくるそうです。子どもたちは楽しそうに整然と食べていました。ここを見る限りは心配しているような先生の負担はあまり感じませんが、クラスが落ちていない場合は少し大変か思います。給食の良い点は栄養バランスの取れた食事が出来ること、汁物や温かいものが食べられること、お弁当はその子どもの状態でご飯の量など調整できること。メリットがあります、部活などをやる子どもにとっては量的に足りないのではとも感じました。 ● 葛城北民商の会員さんに赤旗のお勧め。留守が多かったのですが日曜版1部。他のチームでも拡大で合計3部、画期的です。 ● 河合町で懇談会、医療から平和の問題まで、年齢を感じさせないチャレンジ精神に感銘しました。	
11/26	木		● 過疎水資源対策特別委員会 ● 台風18号被害の問題を質問、県下で800から900箇所も農地、など被害が発生。災害復旧事業の場合の地元負担が2割程度のなると農家の年収が少ないためやめるところがでてくる、県としての支援を求めました。中山間地の復旧は一般に比べて有利な面もあるようです。また山林の復旧が3割だけ予算化されていますが調査が遅れ今後上がってくることも救済すべきと質問。当初予算で救済できるようにしたいとの答弁でした。市町村に技術の職員が少ないため今回の調査はその点も県として支援したとのことでした ● 吉野町立病院の整形外科の石が3人体制から医大の医局人事で2人になり来年から更に1人になる問題を質問、医師1人では20床の入院ベッドは困難で10床削減また外来診療を1単位減らすなどあり支援を要望、県では難波の公立病院と県で話し合いを行う予定とのこと。外来については人の派遣を検討。 ● 大台ヶ原のロッジなどの管理を行ってきた吉野熊野観光開発が経営悪化のため1億2千万の県の借金を返さないまま解散との報告がありました。現在5社がその後の経営のことで参加してきているようです。私は県営プールの問題がありホテル誘致も決まらないままにプールだけつぶしたが今回も解散して次が決まらないようなことがないよ次が決まってから解散すべきではないかと質問、一柳文化観光局長は出来るだけ早期に次のところを決めたいとのことでした。これまで過疎の委員会は質問が少なかったのですが結構発言がされるようになってきました。	

			●奈良県保育運動連絡会が県に要望書の申し入れ山村議員とともに同席 ●25回党大会議案のCS放送があり視聴、志位委員長が森林組合に行ったときの挨拶でドイツの事に触れドイツ国土の4割が森林その労働者は130万人、自動車産業の労働者が75万人、国土の7割を占める日本はもっと雇用の場になるとのこと大いに確信を持ちました。 ●インフルエンザ問題で自治体では患者の数が把握できない仕組みになっているとのこと。医療関係者も受付の最前列の人はワクチンを投与2列目以降はなしなど矛盾まー便50人分では小さい町では難しいなど課題山積。	
11/25	水		●県庁へ、明日の過疎水資源対策特別委員会の打ち合わせ ●台風被害問題調査 ●県議団会議 ●決算委員会の討論の発言通告 ●道路建設課より説明を受けました ●水道料金引き下げ問題で問い合わせ ●アスベスト問題で市田忠義議員の事務所に連絡 ●希少動物の問題 ●がん対策 ●入党を勧めていた方が入党の方向で考えてくれるとの連絡を頂きました。	
11/24	火		●竹取公園にて林野火災を想定した消防防災訓練が行われ参加しました。霧がかかっていたためヘリによる訓練はなかったものの、伐採や水のカーテンによるして延焼を防ぐこと、沈火のあとから火の粉などが残らないように最後ホースで主移動の水まきなど。これまでの消火訓練で見たことがなかったやり方が行われていました。それにしても寒い日で特に水撒きのあとは温度が急激に下がり炊き出しの豚汁のおいしかったこと、多くの方々の参加ご苦勞様でした。 ●田中議員と、土庫病院にがん対策問題で現場の声を聞かせていただきました。化学療法や、緩和ケアなど医学は進んでいますが実際にその講習を受けたりするには医師看護師不足がベースにあるためいっばいづいばいづいやっていてゆとりがない。拠点病院も検討したが、実際にはそれに見合うだけの診療報酬などが困難、地域連携クリティカルパスはまだまだ困難、病院としてはがん患者の登録は行いフォローをしています。緩和ケアは積極治療が出来ないため、初期から緩和ケアを受けることが望ましいが全て治療をやめてからでないと受けられないという問題がある。患者さんの声にゆっくり耳を傾けてやりたいが出来ない。医療費が高額で治療を断念するなどの問題を教えていただきました。 ●赤旗のお勤め、民商の会員さんにお願いして日曜版2部が増えました。 ●地区常任会議	
11/23	月		●ホテルでバイキングの朝ごはん、食事が終わるとももちゃんはレストラン中に響く大声でごちそうさまでしたと挨拶、みんなの目がいっせいに集中。そのあとが大変「大きな声でえらいね。ご挨拶がじょうずだね」など周りの人たちの視線があったからです。 ●法要は、母方や父方の親戚これまでの近所の人、母の友人や仲人をした人など大勢の方が来てくださいました。本家だったので父の兄弟も多く、いろいろな人もこられました皆さん母によくしてもらったといっていたいただきさぞ喜んでのことと思います。昨日は雨が少し降って心配でしたが納骨も雲ひとつない晴天。静岡はやはり暖かです。お葬式のときも晴れて母は晴れ女だったのでしょうか。帰りは渋滞だったのでいつもより時間がかかりましたが無事帰宅。これで一安心です。お疲れ様でした。 ●今日は勤勞感謝の日！	
11/22	日		●あす母の49日の法要のため静岡に帰省しました。娘夫婦と孫とホテルに泊まりました、ももちゃんはだれとでもすぐ仲良くなってももちゃんを連れて歩くといろいろ知らない人がすぐ知り合いになってしまいます。次女の子どものころを思い出しました。 ●雪をかぶった富士山がうっすらと見え、わたしたちを歓迎してくれているようでした。	
ページトップへ				
11/21	土		●昨日相談のあった18号台風の被害調査に宇陀市まで行って来ました。バス停から電話、迎えに来てくれました。バスどおりからあがって行く細い道路に也、車が道幅いっぱいでおちたらどうしようと心配に、農道のところが崩落して竹やぶのタケが果樹園のその下の田んぼのところにまで落ちていました。道路にはビニールシートがかぶせて合いましたが、水路のユー字溝と土の間の隙間が出来ていてこのままでは又いつ崩れてしまうか心配です。すぐそばのビニールハウスには障害者の施設の人が毎日作業に来ていてと聞いて早急な復旧の必要を感じました。また家は崩落した道路の横に石垣が積んでその上にありますが、いつ崩れるか不安です。その道路の10メートルくらい先のところは過去に崩落したためコンクリートの擁壁がつくられていました。この工事はだれが行ったのか調査したいと思っています。 ●今回の台風18号によって奈良県では約800箇所の被害が起きています。吉野町宇陀市が中心です。災害復旧は国から65%の補助金、激甚災害になるともう少し上乗せされます。市町村でも負担してくれますが地元負担というのがあるため地元負担20%となると、復旧工事に1000万がかれば負担は200万、農家の1年間の年収が飛んでしまいます。高齢化が進んでおりこれをきかけにやめてしまう農家も多いと聞きました。これまで国が管理していた里道が市町村に移管されその管理責任の問題もあります。現場を見ると山と山が重なったところに農地がありその間を水路がとおっていました。これが山の水を全て受けるにはとても無理な水路です又水路が途中から曲がってついていますが水の流れが止まらずまっすぐに大量の水が崩れた道路を直撃して落ちたものと想像できます。毎朝4時半から夜7時半まで働いて、災害がおきたら自己負担といわれても、とても続けていけないといっていました。自己負担分をゼロにするような対策の必要を感じて帰ってきました。よそでは復旧のために労働力を提供すれば自己負担とみなすようなところもあるようです。 ●広陵町戦没者追悼式に出席しました。64回目、各町ごとのやり方から今後は郡で持ち回りを検討されているようです。遺族の方も高齢になり参加者が年々減っています。	
11/20	金		●財政課より12月議会議案説明、人事課より公務員及び特別職の賃金引下げ問題の説明 ●葛城市の白石議員、春木議員が高田バイパス問題で県の道路建設課に申し入れ。当麻寺の参道を分断する形で山麓線が建設されていますが新たなバイパス計画がどのようにになっているのか、南阪奈道路の高速料金が高くせつかくの道路が使い切れていない。値段を引き下げればバイパスは要らないのではないかと。県としては国交省の事業であり地元からそのような声があったことを伝えさせていただきますとのことでした。 ●医大の委託先の労働問題で県と日程調整 ●宇陀市の台風18号被害の地元負担の軽減を求めて県に要望 ●県議団会議、地域医療再生計画で県より議員団にレクチャー、水道局より水道料金問題で説明をうけました。 ●寡婦控除の問題。入籍ないまま母子家庭になっている場合は対象外となっており、寡婦は戦争未亡人を想定してつくられたものであり現代に見合う内容に改正の必要があると思います。	
11/19	木		●弟のところで仏壇の開眼供養。気になっていたことがひとつ片付きました。23日に49日の法要と納骨のため、母の遺骨を預かってきました。	

			● 久々に地元で宣伝、八尾春雄議員と7箇所、沖縄の基地問題や事業仕分けのことなど訴えました反応も良かったです。頑張ってくださいと声をかけていただきました。 ● 健生会友の会定期協議会参加 ● 18号台風で被害にあわれた農家の方から相談。明日県庁に来て申し入れることを約束	
11/18	水		● 22日開かれる障害者虐待防止法の集会のメッセージ ● 23日の上牧町共産党後援会のバスツアーのメッセージ作成 ● 地域医療再編計画のレクチャーの打ち合わせ ● 孫の七・五・三を行いました。ハル君が5歳、チナツチャンが3歳です。お宮参りのときの着物を着て龍田大社におまいりに行って来ました。元気に大きくなって欲しいと願っています。	
11/17	火		● 朝から雨。生活相談のあったところに訪問2件。生活保護の制度を良く知らないために、担当の方から言われた言葉を心配して、生活保護を打ち切られるのではないかと心配していましたが仕組みの説明をすと納得。病気のことや家の事の不安、もう生きていたくないという。早々と心配しなくても必ずお迎えが来るから大丈夫。30分ほど話していたらすっきりした顔に。 ● 新聞のお勧め。最近どうですかと民主党政権の話に、官僚には問題もあるがその道を知っている、そこをもっと利用すべきではないか、1時間程度のやり取りで事業仕分けでほんとうにいいのかと疑問の声。この先どうなっていくか不安ですといわれていました。購読にはいたりませんでした但又応援させていただけますとのこと。対話は大切です。 ● DV(家庭内暴力)が子どもに与える影響について、県主催で森田ゆり先生の講演会が榎原文化会館でありました。傾聴することの大切さ。暴力に至る前にその奥にあるさまざまな感情を受け止める大切さ、聴くという字は14の心と耳という字でできている。言葉や行動の奥にある14の気持ちを受け止めることが大事という言葉が印象的でした。 ● 支部会議参加、発達障害学習会	 気持のきの本 森田ゆり著
11/16	月		● 昨日投票の五条市議会議員選挙で大谷たつお候補が8期目の当選を果たしました。元職2人・新人1人落選。民主の新人もその中に入っていて、民主の追い風が少し変わってきたようです。 ● 王寺民歩原稿、赤旗のお勧め、日曜版が2部増えました ● 「沈まぬ太陽」の映画を見られたという方とお話しました。あの主人公のようにみんな強くなれない。理不尽でも会社の中で生きていくには家族を守るためにみんなあのように生きてきた。片方が正義で片方が悪いとはいえないと思うと。筋を通すことがどんなに大変なことかと改めて実感。子どもたちの時代がどうなるのか心配というのでは一致。当たり前のことが通るルールが必要ですよと言うと頑張ってくださいといって購読を約束していただきました。鯛焼きまで頂きました。もう一人は以前生活相談に乗った人で、1月に共産党の大会があるので新聞や党員を増やして頑張っていますという、1月まで2ヶ月とらせてもらいますと約束。他のところでは数件廻りましたが生活費が大変と断られました。 ● 久々に県庁に机の上に書類が山になっていました ● 道路の工事にかかる予算の減額の説明を聞きました ● 医療事故問題で調査 ● 母子家庭問題 ● 地域医療再生計画等等	
11/15	日		● 八木駅前で奈労連が中心になって労働相談会が行われました。テントでは相談コーナーや、健康チェックコーナー、がもうけられ駅の出口ではピラや相談の電話が書いてあるティッシュを配布。私も少しお手伝いさせていただきました。吉井英勝議員も激励に来てくれました。ピラを配っていると一人の男性が相談したら仕事あるんかと声をかけてきました。政府は公約を守れというちらしのみだしをみて、民主党は良く頑張っている、情けないのは奈良の知事だといいいに来ました。政府要望で相手にされなかったという新聞の記事を読んだようです。別のところでは駅にいるホームレスの人に声をかけているメンバーも。また宣伝の声を聞いて近くで働いている人がチラシくださいと取りにきました。年末派遣村をつくらない取り組みが重要です。 ● 纏向遺跡の現地説明会に行ってきた。八木から桜井まで行ってJRで乗り換え纏向まで。2両の電車ですが考古学ファンの人がいっぱいで、見知らぬ人同士が邪馬台国論争をしていました。電車の正面にはカメラを構えて乗っている人。のっているだけでどきどきです。小さな駅のホームは人々がいっぱいでした。3世紀の時代に量140量ほどもある大きな建物は特別な人の居住空間ではなかったかとの説明に皆真剣に聞き入っていました。奈良県はすごいところ。	  八木駅前にて 労働生活相談会 ピラまきが私



纏向遺跡

沈まぬ太陽を見に行ってきた。恩地さんが曲げずに貫いたもの、それを支えた力とは長い映画でした。いろいろな考えさせられました。

[ページトップへ](#)

11/14

土



ホームページの整理、北葛女性議員懇談会、河合町訪問、一人入党、赤旗日曜版が1部増えました

11/13

金



●オバマ大統領が来日の日、日本共産党奈良県議員団で辺ノ古のテント村を訪問。少し小雨で海に行くことが出来ず残念でしたが、コバルトブルーの美しい海に向かって見張りテントが建っていてテントの中には戦いの記録や全国からの支援メッセージ。千羽鶴ならぬ千頭ジュゴンの折り紙などいっぱい。入り口には海上基地建設阻止開始より、8年＝2639日の「命を守る会」のたたかいと座り込み。2035日のカンバンが、すごい闘いを彷彿とさせます。

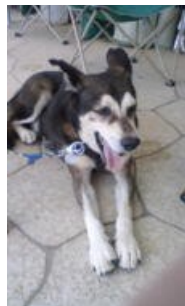
●私たちがテントの中に案内していただき、いすを広げてどうぞということでお話を伺いました。いかにも海の男という感じの人でしたが、北沢防衛大臣は「このまま」と言う、岡田外相は「嘉手納統合」と言う、鳩山総理は「県外移転」とばらばら。「われらは基地をなくすことを期待して民主党を応援した。ふざけんじゃない」というのが正直なところ。この闘いは憲法の平和的生存権を求める闘い。自公政権は共存を押し付けてきた。普天間を辺ノ古にかえれば嘉手納以北の基地を返すなどとてもない。もともと住民が暮らしていたところをブルドーザーと銃剣で追い出し、土地を奪った。返すときはきれいにして有難うございますと返すのが当たり前。それを別の場所をよこせというのは全くおかしい話。

●基地の周りに住む住民が悪いと言うが、追い出されて代替もなければ狭い場所に住むしかない。グアム移転に7000億も税金を使う。米兵と家族8000人が移るといっているが、全体で12000人から4000人しか残らないというのはいや、調査したら10年前の沖縄海兵隊の数字だった、現在兵が1万7千人家族が9000人。移ったところで機能が強化されるだけのまやか。沖縄の米軍がイラク、アフガンに出撃している戦争の加担者。しかもジュゴン、青サンゴが今息づいている自然を壊して米軍基地を作るなど。もってのほか、幾らかかるか岡田外務大臣がはじめて試算して4000億、国民がひどい目にあっているときに米軍基地には金を出す…………。

●沖縄タイムスの世論調査は7割が基地反対。ポーリング調査を海上自衛隊が行うとしてから2000日あまり。来年は環境アセスメントの改正時期。でたらめな内容、基準に合わなくても基準内にしてしまうアセスメントから問題があれば事業中止もできる内容に法改正を求めている。「奈良県からも連帯して戦って欲しい」といわれました。1300年前の木簡が地下水で保護されている世界遺産平城京の地下を高速道路を通して地下水に影響なしなどとてもない内容になっています。充分連帯できると思いました。

●世界中の思いやり予算の77%が日本が出している。この現実をジャーナリストが伝えきれていない。海外から来たジャーナリストは自分の国では考えられないことだといっていた。これまで80を超えるオバマたちが座り込んでいたがもう歳だからと火曜日だけにしてみんなで交代して頑張っている。

●話を聞いている間、座り込んでいる一匹のおとなしい犬がいました。この犬は保健所に送られそうになっていたのを連れてきて誰かに貰い手を捜したがほえないのでここで座り犬として頑張っているとのこと。ポスターなどでも活躍していました。



●テントでいろいろ支援物資も販売、ジュゴンの縫いぐるみとジュゴンとキジムナーの組み木を買って帰りました。闘いのビデオも購入しましたので各地で上映会でもしたいと思います。

●白髪の女性が横におられたので、最初のボーリング調査のときは自然発生的に反対に立ち上がったのですか？と聞いたら「充分わかっていてその時どうしようと決めていた」そうです。75歳で。私は泳げないのでカヌーの練習をしてカヌーで沖にいけます。それでも足りないから「今年、船の操縦の免許を取りました」ときかされてびっくりです。私たちはベトナム戦争で沖縄から日帰りで飛行機が飛び立って人殺しに出かけていったのを見ています。もうこれ以上人殺しの基地を作らせたくありません。ボーリング調査の鉄パイプの見張り小屋をよじのぼって占拠しました。

●相手のところを占拠したから必ず逮捕される。そのため4つの約束をしました。

1、は完全黙秘を貫く、日本中の弁護士が必ず助けてくれると信じています。

2、は非暴力、言葉も含めて貫いています。調査する人にはあなた方は悪くないからと必ず声をかけるようにしています。町で出会うと向こうから頭を下げてくれるようになっていきます

3、は、考えられるありったけの事を行う、調査船の前に飛び込んだ人もいます。足場に紐をくりつけて潜水した人もいます。みんなで人工呼吸の練習をしたあとだったから助かったけど、そうでなければ死んでいたでしょう。この闘いで一人の死者も出していません。

4、は全員無線を使えるようにしたことです。皆捕まって一人だけ残った人が無線を使えないと困ります。救急車を呼んだり仲間に連絡したり・・・やさしそうなきしゃで小柄な彼女のどこからこの闘いのエネルギーが出ているのかと思いました。

●隣には名古屋から支援に来ている女性の方。おばあたちが頑張るので海人が黙っているわけにはいかんと舟を3隻出してロープを張って調査隊の侵入を阻止してくれました。又、2004年は台風が何度も来て12月まで台風が来ました。台風が来ると見張る小屋を撤去するので私たちはとても助けられました。ここの海には海の神様が宿っています。と沖の竜の形の岩を指差しました。帰ったら地元も新聞に必ず投書してこのことを知らせてくださいといわれました。

●海洋博公園で、食事、レンタカーを借りてカーナビを頼りに移動しましたが米軍基地は灰色になっていて全く中味がわかりません。座間市内は灰色が途切れるところがありません。嘉手納基地を見るなら道の駅がいいですと紹介されいってみました。基地の目の前の道の駅4階建ての屋上には監視カメラが基地のほうに向いています。それは3階の学習室で見学できます。また100円の双眼鏡が置かれ肉眼では見えない細部が見えます。空中で給油できる戦闘機、窓が全くない黒い飛行機、たくさんのジェット機など不気味です。ジェット機の騒音は会話が全く聞き取れません。保守の市長さんのときに立てたというものです基地を逆手にとって繁盛していると思います。

●雨が激しく渋滞に巻き込まれ帰れるかと心配しましたが、何とか無事帰宅。12時少し前。たくさん宿題をもらった感じです。

11/12

木



●昨日は議会のレクチャーでしたが今日は現場を見て歩きました。最初は首里城公園。国立公園は各県1箇所というのが国の考えで最初は認められにくかったのですが海洋博公園と2箇所です1つの国営公園としています。大型駐車場が完備され大勢の観光客が来ても大丈夫になっていました。首里城は3度目でしたが今まで知らなかった日本軍の指令本部あとも見せていただきました。



●観光ガイドが以前より充実していて学童児が着ていたという赤い着物のユニフォームを着た女性のかたに案内していただきました。展示物の見せ方も工夫され歴史に関心のない人にも判りやすく説明してありました、またバリアフリーの配慮がいたるところでありました。本殿は資料に基づいての復元、ほかは概要だけは復元ですが中味はわからないとのことでした。

●座喜味城跡にいきました。地元教育委員会の方が案内してくれました。子どもたちが遠足に来ていました。ここは石垣の城壁と建物跡の石が残っているだけでしたが、海に面しており昔の石垣そのままみんなで復旧されたということでした。海を見ながら遠い過去やさまざまな思いをめぐらせるのにタイムスリップし時間空間を越える場所です。昨年基地が返還され広大な敷地が返ってきました。公共施設や農業を中心とした活用をと考えておられます。焼き物染物などの伝統産業。民泊などの取り組みエメラルドグリーンの遠浅海岸など、座間で観光を連泊して楽しんでもらえるようにといろいろな取り組み



		が行われています。管理費は村が出して年間150万円くらい草刈が主な中味です。遺跡の復旧などはそのつど国の支援を受けています。 今帰仁城跡も村が管理、ボランティアガイドさんに案内していただきました。万里の長城を連想させます。 す。独自の文化と伝統があり、昔から信仰の場所だったところですが、3、5、7、段の階段も地元で整備、広大の城壁に囲まれ発掘が行われていました。祈りの場所で女性しか許されない空間があり王様に最も近い女性を頂点に各地を統治する責任者が置かれ祈禱が生活の組み込まれています。勾玉を代々伝えることになっていて案内していただいた女性の方はこの地域で先祖代々祈禱の役目を受けておられる方でした、ここでも後継者不足の問題があるようです。 ●昔はなくなると土葬をして7年目に親族が集って女性が歩目を洗うことが行われていたそうです。今でも春には遺族が集ってお墓の前で先祖を祭るようにしているとか。こんなことが沖縄の独自の連帯になっていると感じました。 ●イチャリバキョーデーということばをおしえていただきました。一度であつたら兄弟のように信頼していますという言葉だそうです。もっと沖縄の言葉に込められた簡単なしかも大切なことを今の時代だから伝えたいといわれていました。 こんな立派な歴史のある沖縄は琉球王国で日本の都道府県のひとつではないと思いました。	
11/11	水	●日本共産党奈良県議団で沖縄県に視察に行ってきた。とにかく暑くて昨日まで東北に行っていたブーツのままで来たのでとにかく靴を買って履き替えました。 ●議会視察、議会では沖縄も昨年5議席になったということでしたが皆さん基地問題や、米兵によるひき逃げ事件での対応など忙しくされていました。若い女性の秘書さんがてきぱきと気持ちよく対応してくれました。8日に開かれた普天間基地の県内移設反対県民集会の号外が沖縄タイムスで報道されていましたが、赤旗と見間違えるような報道でした。 ●子育て支援と高齢者対策についてレクチャーを受けました。沖縄県は子どもの出生率が全国1。何か特別な対策はと質問したのですが「特別なことはしていません。連帯感があって地域や親族がみんな子どもを見ていくため、それが子育てしやすい環境かも知れません」とのこと。また沖縄県は基地が一番いい場所にあるため、鉄道がなく田舎のほうでは移動が大変なのではないかと質問したのですが、「手を上げたらだれでも乗せてくれるから」ということでこちらの質問したこと自体が不自然な様子でした。また10代の出産が多く離婚も多いということです。 ●次のレクチャーは沖縄県教育委員会の文化財の担当の方でした。視察目的は平城京の国営公園化という奈良県の方向が今後どのように変わっていくのか。どのような点をつける必要があるのかなどの問題意識に基づいています。首里城は琉球王国の王城で、数度にわたって焼失再建されています。明治12年に沖縄県になり戦争の時には日本軍の指定部隊が地下に作られたので首里城は戦後荒廃が進み老朽化が激しく破壊寸前となり集中攻撃を受け琉球王国の宝物や文化財が破壊され、琉球大学が置かれたこともあって首里城の多くの遺構が撤去され埋められたとのこと、首里城再建は県民の悲願だったそうです。首里城の再建なくして沖縄の戦後は終わらないという県民の想いがあつたそうです。しかし城壁の石積みなど国立公園にする場合には崩れやすいところは人が来たときに危ないということで遺跡の真実性よりの建物の安全性が優先され、石垣も一部だけ従来の石垣をのこしそのうえに新たなものを作るやり方で行われているということです。世界遺産は琉球王国のグスク(城)及び関連遺産群として9カ所の遺産で登録されました。首里城は地下の遺構が世界遺産です。 ●年間入場者は昨年257万人。世界遺産登録前より1、3倍の増加です。ただし不況とインフルエンザで減少傾向です。入場料は800円。首里城再建のときにお金を借りているのでその返済などに充てられています。 ●渡久地議員と沖縄県議団の活動など意見交換しました。毎日自転車にマイクと旗を立てて議会にきているそうです。地元新聞にも紹介されたので止められないといっていました。定数2で勝ち抜いてきた議員もいます。以前は党勢力が最も弱かったところですが、相談活動など徹底して党員を増やしてきたとか。頑張らなくてはと刺激されます。	
11/10	火	●東北自動車道路をバスで移動。宮城県議会視察、議会の正面の景色がこもれびと美しい彫刻が目	

		 に入り、すがすがしい雰囲気を感じました。仙台は銀杏並み木の紅葉が美しかったです。帰りは仙台空港から伊丹に帰ってきました。 ●家に戻ると母の法事の参加のことで又連絡を頂き、これまで一堂に会したことがなかった親戚が来てくれることになり、改めて本家に嫁いで50年暮らした母の存在の大きさを感じています、明日から又留守にするので用事を片付けておくのが大変です。	
11/9	月	 ●奈良県議会運営委員会で盛岡県議会を視察しました。盛岡は石川啄木と宮沢賢治のふるさとです。曇っていて岩手山が見れなかったのが残念です。 ●岩手県議会は21年4月施行で岩手県議会基本条例が策定されました。その策定にかかわった津軽石昭彦氏よりマニフェスト時代の議員提案条例を考えるというテーマで講演をしていただきました。議会事務局の方からも岩手県議会のことを伺いました。条例策定には25回の議会運営委員会の開催。その結果、調整したことは1問1答、分割式を議員の選択性にしたこと。また1問1答について時間がかかるのではないかととの質問に対し、答弁を入れて70分にしているのでこれまでより早く終わっているとのことでした。 ●議長、副議長の候補者所信表明は見送られたとのこと。理事者への反問権は最終的には質問はこういうことですかと趣旨の確認が出来ることとされました。私に関心を持ったことは、議案の賛否の態度が一人一人議会のホームページに掲載されるということです。奈良県でも賛否が分かれるときに、瞬間のことなのであとから事務局に確認しても賛成多数しか確認されていないことがありこれは必要なことだと思います。また議員が県下4会場に出かけていき住民と懇談会を開くなど、見習うべきです。特別委員会は2年間の中で研究をして答申をするということで、奈良県のような第2の特別委員会の位置づけと異なります。 ●議席の少ないときはさまざまなことが発言できる場があったほうが意見が伝えやすいメリットがありますが、厳しい時代に模索しながら県民にとってより良い方向を示すには一定の研究答申のような手法が必要ではないかと感じました。午後1時から4時までびっしり視察。向こうの方もこんな熱心な視察は初めてですと驚いていました。	
11/8	日	 ●五条市議員選挙大谷たつお候補出発式。柿の色づく時期がいつも選挙の時期になります。山麓線を走りながら時間に間に合うかと心配しました何とかセーフ、ついたとたんに挨拶最初でした。合併後初めて地域を分割せず五条市全体から15名を選ぶ選挙です。定数6議席削減。7期28年住民が主人公を貫き通した大谷さんの議席の値打ちを語りました。 ●大急ぎで奈良に、国民融合を目指す部落問題全国会議、主催の同和事業の終結とまちづくりに対する全国集会在奈良で開かれました。東大阪市の幹部だった方で古川康彦さんの話はとても参考になりました。運動の路線の違いからばらばらになっていた地域にはいって、一緒にまちをきれいにする清掃を町ぐるみで行う取り組みを通じて掃除のあとは焼肉パーティーで、お互いにもともと知り合っていたため、子どもたちが誇れる地域にしようと合意し、ごみや廃車置き場の駐車場をきちんと管理するなどまちづくりに取り組んだ取り組みはとても参考になりました。また生駒市の同和行政の見直しの答申をまとめた弁護士さんのお話。なら県下の自治体の同和事業の実態調査など、奈良県でこのような全国集会在開かれたことをとても重く受け止めました。最後に残るのは、差別がある限りということで人権に名前をかえた啓蒙啓発の問題です。生駒市の見直しでもここがかなりの議論になったようです。	 同和事業終結全国会議
ページトップへ			
11/7	土	 ●孫の運動会、ハル君は来年から学校のため最後の運動会で大活躍でした。以前見に行ったとき年長組みが鼓笛隊をやっているのを見て、すごいこんなことが出来るようになるのかなと感激したのですが、春君が一生懸命やっていると想いはひとしおでした。チナッチャンもダンスなどとてもピシッときめていました。 ●お産の歴史について天理大学の安田真奈美先生の講座を聴きに行ってきた。胎盤は昔あこの世からこの世につながる衣という考えで大切な包んでのしを掛けて庭に埋めたそうです。お産の歴史には、大いに学ぶ点があると思いました。 ●早瀬さとこ展を見に行ってきた。ニュースステーションでは報道されたとのことネットで1日1万間などアクセスが大変なようです。 ●山下芳生衆議院議員の時局後援会。新政権の下で基地問題など民主党がぐらぐらです。共産党の活躍ぶりが伝わってきました。	
11/6	金	 ●cu-calnara、フードフェスティバル に行ってきました。1時45分に神戸北野ホテルの山口浩シェフの作ったフランス料理でした。予約席はカウンターでお料理をつくるところをまじかで見ることが出来ます。会場は奈良公園の振興街道の前の芝生に造られた特設ステージ。最高の日中で暖かく良かったです。雨の日とは心配になり聞いたら今までは雨はありませんでしたとの答えでした。 ●全て大和の素材を使ったというもので、芸術作品のようで食べるのがもったいないようでした。白い	

			お皿に次々とお料理がならべられて芸術作品のようでした。山口シェフは、堂々としていて恰幅がよく、この人が作るものは間違いないと思わせるオーラのようなものがありました。 ●コーラスの練習、小さな木の実、とても素敵な曲です。 ●生活相談 医療問題	
11/5	木	☀️	●河合町水つき問題で大和川のひもんの調査。地元で長年管理をされている方にお話を聞かせていただきました大和川の水位計が3メートルになると地元消防団が出て防災対策を行うことになっています。市場の内水がかなりの水圧になってやっと排水溝のふたが開く仕組みですがその前にふけた側など満水になってしまうため水の逃げ場がない水の災害となります。消防団はポンプを使ってない水を外の川に排出することになっているそうです。最近の雨でも広瀬神社一体は橋げたや田畑一面水が浸かったということでした ●現在天理王寺線問題が洞落ルートを通る計画となっていますが結局ふけた側に水が来るため、水害が少なく共存できるルートをと地元の人たちが知恵を絞っております。 ●各派代表者会議 ●議会運営委員会 ●市田忠義議員の秘書の方が王寺のアスベストのことで調査に来られ訪問に同行しました。健康管理手帳を持っているかたは、こんなのもらっても検診に来てくれというだけ厚生労働省から、近くの検診センターを紹介されて検診を受けているのであまりたびたびやると帰って体が良くないと思うので行っていない。専門医が少ない。80歳の方ですが35から40歳くらいのときに、板ガラスの研究の仕事をアスベストのついてマスクや衣服を見につけて高温での実験を行っていたとの事です。 ●母の介護保険の契約解除の手続き ●赤旗の集金 ●日刊紙1部と日曜版1部が増えました	 河合町 不毛田川水害調査
11/4	水	☀️	●健生会友の会月間で土庫病院の待合で署名やアンケートのお願いをしました ●王寺町自治体キャラバン・河合町自治体キャラバン・上牧自治体キャラバン。キャラバンの間にもう少し時間があるかと思っていましたら結構いっぱいでした。それぞれの町の様子や住民の方々の要望がよくわかって勉強になります。キャラバンも今年で18回目。継続は力なりです。 ●発達障害についての議員学習会	
11/3	火	☀️	●寒い日になりました、各地で初雪情報が流れていました。議会も終わったのに資料整理の暇もなく、やっと自分の部屋の片づけをしました。 ●23日に静岡で49日の法要と納骨をと親戚や昔の町内会の方など連絡をして準備をしています。母の一番上の兄で90歳になる叔父さんがその日は大土(おおつち)だから納骨としないほうがいいということで従兄弟から電話がかかってきました。お寺にその旨を伝えたと、みんなで法事することはいいこととお参りする皆さんにとって1番いい日がいい日だと思いますといってくれたので安心しました。 ●従兄弟は、お父さんがなくなったときは大土はやめておくからと言ってくれたそうです。今まで神仏とあまりかかわらずにいましたので戸惑うことがいろいろです。 ●新日本婦人の会で親子リズムをはじめました。ご近所の小さい子どもさんがいるお宅にちらしを届けてきました ●中南和地区委員会総会に参加	
11/2	月	☀️	●県議団総会、半期の活動のまとめをしました。 ●奈良公園はいま大変な賑わいです、興福寺の阿修羅像を見ようと1時間待ちの長蛇の列がありました。 ●11月8日、奈良県中小企業会館でおこなわれる国民融合を目指す部落問題全国会議第3回「同和行政の終結を考える」の集会案内を知らせるための記者クラブに申し入れ。 ●生活相談(介護の問題) ●葛城市の道路問題 ●太陽光発電の固定資産税問題で、屋根に直接取り付けると固定資産税が高くなり足をつけて取り付けるタイプでは固定資産税は高くないとの事。直接タイプは全体の2割足をつけるタイプは8割との事です ●1300年事業の平城京にあるツバメの営巣に影響を与えないようにという問題で観光課に連絡しました。	
11/1	日	☀️	●広陵後援会のバスツアーに三重県香肌町のホテルスメールに行ってきた。バスの中で議会報告もさせていただきました。途中蓮ダムを廻ってもらい、紅葉を楽しみました。雨と聞いていましたが晴天で喜んでいましたが帰りは土砂降りになりました。 ●ゆっくり温泉につかって、おいしい食事を頂き、カラオケやコーラス、落語も飛び出す楽しいひと時でした。	 広陵後援会バスツアー

